

令和7年度ホームタウンちよだ応援事業 指定団体・活動概要一覧

	カテゴリ	団体名	事業名	活動内容概要
1	学術・研究	独立行政法人国立公文書館	令和7年度特別展及び企画展の開催	国等から移管された特定歴史公文書等を、国民の皆様にも広く利用していただく観点から、テーマを設定した特別展、企画展を開催しています。夏に開催する特別展では、展示に関連したイベント・ワークショップの実施を予定しています。
2	学術・研究	公益財団法人日本宇宙少年団	YAC 宇宙教育・未来人材育成プロジェクト—宇宙教育を通じて未来の人材を育成する—	宇宙や科学をテーマにした体験型教育を通じて、子どもたちの探究心と創造力を育てる団体です。全国の分団で観察・実験・キャンプなど多彩な活動を実施し、仲間と共に学び力を養います。子どもたちや地域社会に対して、科学的な思考力やリーダーシップを養い、科学技術への理解を深めるという効果をもたらします。
3	学術・研究	公益財団法人ニューテクノロジー振興財団	全日本学生マイクロマウス大会 全日本マイクロマウス大会	マイクロマウス大会は、マイクロマウスと呼ばれる小型の迷路解析ロボット、およびロボットレースと呼ばれるライトレースロボットの競技会です。それぞれの競技会に出るロボット、並びにそれに搭載されるAI、ソフトウェアを参加者が開発し、迷路やコースの走破の最短時間を競うロボット競技会です。競技会を通じ、AI×ロボット人材の育成を行っています。
4	文化・芸術	公益財団法人日本棋院	①第49回文部科学大臣杯 全国高等学校囲碁選手権大会 全国大会 ②日本棋院 院生制度事業	①高校生の日本一を決める大会です。4月下旬ごろから各都道府県予選開始し、同時に予選会場で段級位認定大会及び初級者大会、教室を開催します。 ②我が国の国技であり伝統文化である「囲碁」の専門棋士を目指す青少年を育成する院生研修では、院生師範(棋士)が技術指導を主体に、棋士・社会人として必要な教養・道徳・倫理観の習得のための指導を行います。囲碁普及を担う棋士候補の育成を通じて、次世代の文化継承を担う人材を育て、伝統文化や社会人としての礼節も学ぶことで、技術と人間性を兼ね備えた人材を育成します。
5	文化・芸術	公益社団法人日本陶磁協会	機関誌『陶説』の刊行	会員向け機関誌『陶説』を年11回発行し、会員に送付しています。考古学から古美術・骨董、現代陶に至るまで、やさしいものに関する展覧会やコース、作品写真、論考、随筆などの情報を収集し、掲載しています。年齢や環境に関係なく情報を伝え、その時代の時代を反映した陶磁文化の様子を知り、研究資料としての一端を担うことができると考えています。
6	福祉・健康	公益財団法人日本交響楽振興財団	特別支援学校・高齢者施設訪問演奏会	能登などの特別支援学校児童生徒、高松・山形の高齢者を対象に演奏会を開催します。オーケストラ体験は青少年の情操を刺激し、会場への移動は社会とのかわりを持つ貴重な校外学習です。高松と山形では、それぞれ瀬戸フィルと山形交響楽団の奏者が高齢者施設を訪問し演奏します。クラシック音楽のみならず、いわゆる「昭和歌謡」なども演奏し、音楽を楽しみ身心をリフレッシュしていただきます。
7	福祉・健康	公益財団法人産業殉職者霊堂奉賛会	労働災害殉職者の御霊を慰霊敬仰するなどの諸活動等を通じ、労働災害根絶の機運醸成を図るための奉賛事業	労働災害殉職者の御霊を祀る公的慰霊施設である産業殉職者霊堂「高尾みころも霊堂」(東京都八王子市)の運営に協力し、霊堂に奉安されている労働災害殉職者の御霊を顕彰し慰霊敬仰するために以下の奉賛事業を行います。 ①慰霊行事開催等の慰霊敬仰事業、②霊堂の環境整備・美化、③労働災害殉職者の遺家族等に対する支援・援護、④労働災害防止に関する普及啓発活動
8	福祉・健康	公益財団法人日本殉職船員顕彰会	戦没・殉職船員の追悼事業	戦没・殉職船員の霊を弔い、その功績を後世に伝えるとともに、遺族の援護にあたり、もって海洋立国の精神を高揚し、海事思想の普及と海洋永遠の平和に寄与することを目的とし、戦没・殉職船員追悼行事、戦時徴用船遭難(記録画)の展示会、「海の日」清掃(慰霊碑および周辺)と献花式等を行います。
9	福祉・健康	公益財団法人認知症予防財団	無料の電話相談「認知症110番」	毎週月曜、木曜(月曜が祝日の場合は火曜)の10～15時、毎回専門職の相談員4人が通話料も無料で認知症の人の介護に悩んでいる方、ご自身の認知機能に不安がある方への相談に応じています。 1日当たり15件前後、年間延べ1,100人程度の方の相談に対応しています。1992年から実施し、これまで約3万5,000件の相談実績があります。
10	福祉・健康	公益社団法人教育文化協会	①働く仲間やその家族をはじめとした創作活動に励む方々のための「幸せがし文化展」 ②安心して働き暮らすことのできる社会の実現に向けた「私の提言」	①働く仲間とその家族をはじめ、広く一般からの応募も受け、日頃から創作活動に励んでいる誰もが参加できる文化展として、写真、絵画、書道、俳句、川柳の5部門で2年に一度開催しています。 ②すべての人が安心して働き、暮らすことのできる社会の実現に向けて、労働組合・連合に期待すること、取り組むべきことなどを提言として毎年募集しています。働く人、労働組合員だけでなく、どなたからの応募も受け付けています。
11	福祉・健康	公益社団法人日本リウマチ友の会	リウマチに関わる啓発活動	機関誌『流』の発行、「リウマチ白書」(5年に一度)の発行、公開講演会、ホームページの運用、リウマチ患者が必要とする自助具を紹介する「生活便利帳」の発行などを行っています。
12	福祉・健康	認定NPO法人ファミリーハウス	難病の子どもとその家族のためのハウス(滞在施設)運営プロジェクト	小児がんを始めとする難病の治療のために高度先進医療を必要とする子どもとその家族に対し、1泊1,000円で安心・安全に宿泊できるハウス(滞在施設)を運営しています。現在東京都内で8施設16部屋を運営し、ホスピタリティを重視し、施設を利用される方の「精神的、身体的、経済的負担」を軽減するとともに闘病生活を支援しています。
13	子ども・子育て・青少年育成	公益財団法人母子衛生研究会	インターネットを通じた妊娠～子育て期の悩み相談事業	ビデオ通話アプリを活用した「オンライン母子保健相談室」や、妊娠～子育て期の悩みに医師等の各専門家からの回答を掲載する「インターネット相談室」の実施により、妊娠～子育て期の親や養育者等の悩みに寄り添い、子育てを支援する活動を展開しています。子育て家庭の多忙化や核家族化などにより身近で相談できる時間・場所がないというニーズへの一助としても活動しています。

14	子ども・子育て・青少年育成	公益社団法人全国少年警察ボランティア協会	青少年の非行防止及び健全育成事業「農業体験を通じた立ち直り支援活動」	非行等に走った少年の立ち直り支援を効果的に進めるためには、少年が継続的に活動できる場があることが望ましく、農作物の栽培、収穫等の農業体験を行っています。忍耐力の涵養や、体験を通じた将来の就労に向けた意欲の向上、情操面における教育的効果も期待できます。農業を通じて人と触れ合うことで少年達の共感性を高め、社会に飛び立つことができるよう後押しをしています。
15	子ども・子育て・青少年育成	認定NPO法人親子はねやすめ	①介護によるご家族の孤立・疲弊を防ぐ家族揃ってパーバキュー大会 ②子どもらしく思いっきり遊んでたくさん笑って仲間をつくるきょうだいキャンプ	①医療的ケア児を含む障がいのあるお子さん、また重い病気のお子さんご家族は、日々介護に追われ、眠る時間が極端に少なく、外出し楽しむ機会の少ない状況です。ご家族に気分転換を図るきっかけとして多くのご家族が集まり、交流・心話を楽しむ場を提供しています。 ②医療的ケア児を含む障がいのあるお子さん、また重い病気のお子さんのきょうだいの子を集めて、夏休みの思い出に、様々な体験活動(海水浴・スキー・農業体験等)と同時に友達作りを支援しています。
16	教育・スポーツ	公益財団法人 経団連国際教育交流財団	①日本人大学院生奨学事業 ②経団連グローバル人材育成スカラーシップ事業	①学業、人物ともに優秀であって、広く社会に貢献する意志を持ち、将来、アカデミアの世界で研究者として活躍することが期待される日本人大学院生を対象に、奨学生を募集・選考し、海外の大学院に留学するための奨学金を支給します。 ②将来、グローバルなビジネス領域での活躍を目指すとともに日本の経済社会の発展にも貢献する意志もしくはビジョンを有する学生20名を選抜し、奨学生に海外留学のための奨学金を支給します。
17	教育・スポーツ	公益財団法人交通遺児育英会	交通遺児への奨学金支給補助(貸与・一部給付)	自動車事故やバイク事故など道路における交通事故が原因で死亡した方や、著しい後遺障がいのある方の子女等のうち、経済的な理由で修学が困難な方に学費を貸与し、教育の機会均等を図り、人材を育成することを目的としています。
18	教育・スポーツ	公益財団法人全国高等学校体育連盟	全国高等学校総合体育大会(インターハイ)	30競技で全国から代表選手が集結し、その技能を競い合うとともに、互いを尊重しながらスポーツの持つ素晴らしさと感動を多くの方へ与えることのできる大会です。高校生に広くスポーツ実践の機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図るとともに、開催地の地元高校生による高校生活動も含め生徒相互の親睦を深め、心身ともに健全な青少年を育成することを目的としています。
19	教育・スポーツ	公益財団法人全国高等学校定時制通信制教育振興会	①生活体験発表大会 ②出版事業	①全日制高等学校を中途退学し高校就学に再挑戦した生徒、不登校を克服した生徒、いじめから立ち直った生徒等の学校生活を中心とした生徒自らの生活体験発表大会です。 ②定時制通信制高校に学ぶ勤労青少年のための公益活動・非営利活動の普及、啓発啓蒙し、もって市民の公益活動や非営利活動への関心とボランティア精神の涵養を図る出版事業です。
20	教育・スポーツ	公益財団法人東京コミュニティー財団	青少年チャレンジ奨学金事業(給付型)	より複雑化する国内外的環境の中で必要とされる、バイタリティあふれる青少年の育成をサポートする奨学金基金です。学生が関心を持つ分野において、留学、研究、ボランティア活動、フィールドワーク、実地体験等にチャレンジするための一助として、学生個人に最大50万円給付します。
21	教育・スポーツ	公益財団法人東京弁護士会育英財団	奨学金事業(貸与型・給付型)	いつの時代も、経済的な理由により修学を諦める方が多数います。当財団は、昭和34年から、そのような理由で修学が困難な学生に対し奨学金を通して、特に法曹を目指す人材の育成に取り組みしてきました。現在は、東京弁護士会の会員等の子弟に限らず、有為の学生等で、学術優秀かつ品行方正でありながら、経済的事由により修学が困難な高校生・大学生・大学院生・法科大学院生に対し奨学金の貸与を行っており、2025年より、奨学金の給付を開始しています。
22	教育・スポーツ	公益財団法人同盟育成会	古野奨学金事業(給付型)	ジャーナリストまたはジャーナリズム研究を志す者、メディア全般への就職を希望する者を対象に、毎年学部3、4年生、修士1、2年生計80人に奨学金を給付しています。給付奨学生は大手新聞社や放送局、出版社に就職しています。返済の必要がない給付型奨学金のため、学生が勉強しやすい環境醸成を支援します。
23	教育・スポーツ	公益財団法人伏見記念財団	①日本の歴史または文化の研究に取り組む学生への奨学金事業 ②伏見記念財団論文表彰事業	①日本の歴史または文化の研究に取り組む学生への奨学金事業を行います。 ②「第1回伏見記念財団論文表彰制度」における、優秀論文の表彰事業を行います。悠久の歴史を持つ日本文化の保全及び継承を図ると共に、それらを担う次世代の人材を育成し、もって国家のさらなる発展と興隆への寄与を目的としています。
24	教育・スポーツ	公益社団法人日本山岳会	初級者向け登山講習会	読図講習や気象講習などのテーマ毎にそれぞれ机上と実技の講習会を行います。毎月1テーマ、年間22回ほどを予定しています。机上講習は原則として日本山岳会本部会議室(千代田区)で行い、実技はテーマに相応しい山岳で行います。
25	教育・スポーツ	公益社団法人ユナイテッド・ワールド・カレッジ日本協会	高校生の留学支援	ユナイテッド・ワールド・カレッジ(UWC)各校に派遣する、日本の高等学校等に在籍する生徒の選考と、奨学生に対する奨学金の給付を行います。UWCは、教育をとおして平和と持続可能な未来のために、人々、国家、文化を結びつけることを目的とした民間教育機関で、世界各国から派遣された生徒を、世界18の国・地域にあるUWC校(高校)で2年間受け入れます。生徒は、学業に加え、国際理解を深める機会や各種ボランティアを経験します。
26	教育・スポーツ	学校法人共立女子学園	国際交流・留学支援寄付事業	①学生への国際交流基金支援 国際交流・学修支援に関する奨学金の原資として活用させていただきます。経済的負担を軽減しつつ、学生が積極的に海外での経験を積むことを後押しする制度であり、国際理解を深め、国際交流の振興を図ることを目的としています。 ② 国際交流にかかる学生の活動支援 充実した学生生活を実現するため、以下のような活動への支援に役立ちます。特定目的に応じた奨学資金(例:授業料の一部免除等)、学力サポート、安全サポート体制の整備を推進します。
27	教育・スポーツ	学校法人上智学院	①公開講座の運営および推進に係る事業 ②大学図書館における専門図書等の蔵書購入 ③「叡智が世界をつなぐ奨学金」への積み立て事業	①公開講座では、社会人、大学生、高校生をはじめ、全ての世代の参加を歓迎し、地球に住む市民として国内外で同時進行している「社会課題」・「社会変革」・「技術革新」の事象と向き合い、自分ごとのように生きていくべきかを考えてもらいます。 ②応用データサイエンス学位プログラムと2027年4月に新設予定のデジタルグリーンテクノロジー学科における学修・研究を支えるため、専門的な学術電子書籍を導入し、統計解析・機械学習・AI倫理、再生可能エネルギー・カーボンマネジメントなどを網羅する電子書籍タイトルを整備します。 ③本奨学金により、若手研究者や海外からの留学生など、多様な学生の学びを支え、社会に貢献できる学生を国内のみならず世界へ向け輩出しています。

28	教育・スポーツ	学校法人日本歯科大学	①PCルームの機器更新 ②図書館の専門書購入	①本学は歯科医師を育てる大学であり、学部生及び大学院生が生命歯学に関する様々な専門分野を学んでいます。病理学や医療統計学などは、160台のPCを使用し専門的な学習用ソフトウェアを用いた授業を行っており、最新のソフトウェアを使用するためのPC環境の確保により、在籍学生の発展的かつ実践的な学習環境を整えます。 ②必要な最新の専門図書を厳選して和書を購入することにより、学生の学びの環境を整えていきます。
29	教育・スポーツ	学校法人法政大学	法政大学家計急変学生支援奨学金(給付型)	家計支持者の失業・破産・倒産・病氣・死亡または風水害による被災等により家計が急変し、学業継続が困難になった学生に対し、給付型奨学金で支援するものです。家計の急変によって学業を諦めざるを得ない学生への支援により、中途退学防止と教育格差の是正に直結し、社会の活力と発展を支えます。
30	国際理解・国際協力	公益財団法人国際開発救援財団	千代田発、元気な農村プロジェクト in カンボジア	カンボジアのほぼ中央に位置するコンボンチュナン州は、全国でも貧困世帯の割合が高いエリアで、乳幼児の栄養不良も深刻です。中でもコンボンレーン郡は、大きな川によって州の中心部と隔てられている地域で、橋が無いために人やモノの交流・物流が制限されます。雨季は川の増水による土地問題も絡まり、主要な収入源である農耕もままなりません。十分な生計手段がなく困窮した生活から抜け出すことが難しいこの状況に、当財団は子どもの健康増進、地場産業の開発、安定的な農業・漁業収入の確立等の支援を行います。
31	国際理解・国際協力	公益財団法人国際労働財団	世界各国の「労働組合指導者の招へい事業」支援	世界各国の労働組合指導者を招へいし、日本の労使関係・労使慣行・労働法制等に関する講義・セミナーを実施しています。そのうち自主事業として、戦争の惨禍や平和の価値について理解を深める平和教育プログラムを行っています。
32	国際理解・国際協力	認定NPO法人エフアジャパン	カンボジア農村部の障害児のライフスキル向上プロジェクト	カンボジア・カンボット州の農村部に暮らす障害のある子どもたち51人が、安心して学び、自信を育める放課後学習クラブ「チルドレン・スタディ・クラブ(CSC)」を3拠点で新設します。モデル図書室の整備・運営、移動図書館の実施、ICT教育促進のためのタブレット導入、保護者向け勉強会等を実施し、「障害があること」や「貧しい農村に生まれたこと」によって、教育という基本的な権利すら剥奪されてきた子どもたちに、安心・安全に学び、自らの力で生きる道を切り拓く手を届けます。
33	国際理解・国際協力	認定NPO法人ジャパン・プラットフォーム	千代田から届ける緊急支援 被災者の命を守る緊急災害支援プロジェクト	国内外で自然災害や紛争が発生した際、団体に加盟しているNGOを通じて、被災直後の被災地へ命を守る緊急支援を実施します。具体的な支援内容は災害ごとに異なりますが、過去の支援実績から、水・食料の配布や炊き出し、生活必需品の配布、シェルター・避難場所の提供・避難所整備、医療支援、浸水・被災家屋の修繕、衛生用品や衣料品の提供などが想定されています。
34	国際理解・国際協力	認定NPO法人地球の友と歩む会	インドネシアのスンバ島で水問題に取り組む事業	スンバ島は、都市部と違って収入を得られるような会社や工場、商店や、電気・水道もなく、4か月間の短い雨季にトウモロコシや稲を植えるという暮らしをしています。そのため、雨季を待たなくても農業ができるよう井戸や配管などの給水設備を整備し、村の人たちが野菜の作り方や果樹などの植え方を学べるよう活動しています。特に、村人たちが自ら組み立てられるように設計した給水ポンプの開発に力を入れており、村にはない電気や燃料を使わず川の流れる力で水を汲み上げることができ、多くの水に困っている人たちが水にアクセスできるようになることを目指します。
35	国際理解・国際協力	認定NPO法人難民支援協会	日本に逃れた難民への支援活動	日本に逃れた難民の多くは、なかなか難民として認定されず、生活に関するセーフティネットも脆弱な中、困窮した状況に置かれています。当事業はそのような方に対し、難民認定手続きの支援や生活支援、定住支援を行います。難民認定手続きの支援においては、通訳を入れての相談対応や、資料の翻訳などを行います。生活支援においては、食料の提供、一時の宿泊先の提供などを行い、定住に向けた支援として、就労のための職業紹介や訓練、地域での生活に関する難民や自治体など地域の関係者からの相談対応なども行っています。
36	国際理解・国際協力	認定NPO法人ハンガー・フリー・ワールド	開発途上国における「住民主体の参加型開発」手法による地域開発とエンパワー	飢餓のない世界を創るために、農村において、地域の食料安全保障を持続的に実現し得る住民組織の結成と能力強化を実施します。飢餓に直面していた人々が、食品の生産、加工・保存、流通、消費についてや行政など他セクターとの協同あるいは組織のマネジメントについて知見を蓄え、地域全体の飢餓を克服できる能力を身につけるための支援を行います。
37	国際理解・国際協力	認定NPO法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダーJAPAN	ラオスにおける小児医療支援	2015年にラオスのルアンパバーンに開設した「ラオ・フレンズ小児病院」は、ラオス国内の医療スタッフの人材育成を行う教育病院としての機能も備え、国の医療の質向上へ貢献しています。また、専門外来の設置、予防プロジェクト、退院後のフォローアップを行う訪問看護など、現地の需要に寄り添った医療を提供。医療が身近にない地域で、健康の維持と小児の死亡率低下を目指しています。
38	環境保全・自然保護	公益財団法人日本ナショナルトラスト	地域による文化遺産・自然遺産の自立的な保全・活用に向けた支援事業	地域遺産を地域が自立的に保全・活用しようとする活動に対して、公募により、事業企画、専門家派遣、情報・ノウハウ提供等のコーディネートといった直接的な支援を行い、地域自身がノウハウを得て、事業終了後も持続的に地域遺産が守られる「仕組みづくり」につながることを目指しています。また、このほかに地域遺産の調査、保護、活用に関する相談や要望に対応し、助言や情報発信などの間接的なサポートを行う相談窓口を設置して課題解決を支援しています。
39	環境保全・自然保護	学校法人専修大学	地域貢献活動「第16回 Clean Town in KANDA」	専修大学から校舎最寄り駅(九段下駅、神保町駅及び水道橋駅)までの通学路や大学周辺地域の清掃活動を実施します。清掃活動には、学生や教職員に加え、近隣町内会、警察署などの大学周辺地域の方々も参加し、専修大学と地域との交流を深める機会となっています。
40	環境保全・自然保護	認定NPO法人環境リレーションズ研究所	「Present Tree in飛騨高山」による、脱炭素に貢献する森林再生～普及啓発～千代田区民と高山市民との交流拠点づくり	Present Tree活動は、人が偏る都会から過疎の進む地域に人の流れを創り、森と周辺地域を守り続けようとするプロジェクトです。千代田区と「2050年 脱炭素社会実現に向けた連携協定」を結んでいる岐阜県高山市に在るスキの伐採跡地に、ミズナラやブナ等の落葉広葉樹を植えて、千代田区民がその苗木の里親と成り、森になるまで地元と協働しながら育てていく活動です。
41	地域コミュニティの発展	公益財団法人日本都市センター	防災・福祉などの地域課題に対応する令和時代の地域コミュニティのあり方に関する調査研究	自治会・町内会をはじめとした地域コミュニティに関する現状や課題等を踏まえ、地域コミュニティの新たな組成、維持、活性化、そして再編などに向けて、住民に一番身近な自治体の支援のあり方などが問われている状況下で、その実態把握や地域コミュニティのあり方に関して新たな視座等を示すため、「新たな地域コミュニティのあり方に関する研究会」を設置して調査研究を行い、その結果を書籍(報告書)に取りまとめます。

42	地域コミュニティの発展	公益財団法人まちみらい千代田	①千代田ビジネス大賞 ②千代田まちづくりサポート	①特徴のある優れた活動実績をあげている千代田区内の中小企業を表彰します。特に社会貢献、経営革新や経営基盤の強化に取り組んでいる企業を表彰します。 ②在住区民に限定されない3人以上のグループで、千代田区を元気ある、住み良い魅力的なまちにしようとする、市民の自主的で主体的なまちづくり活動を応援し、助成する事業です。活動初動の立ち上げ期や安定的活動から新たな事業にチャレンジする活動を助成対象としています。
43	地域コミュニティの発展	公益社団法人千代田区シルバー人材センター	多世代交流事業(着付け教室、子ども木工教室等の開催)	千代田区シルバー人材センターでは自主事業として、登録会員が個人の持つ技術等を活かして講師となり、子どもから大人まで広く区民の方々に参加していただける多世代交流事業を開催しています。具体的には、着物や浴衣の着付けを学べる着付け教室、夏休みの宿題にも使える子ども木工教室を開催します。
44	その他公益事業	公益財団法人日弁連交通事故相談センター	刊行物(青本及び赤い本)の出版	東京地方裁判所の判例を調査、研究した書籍「民事交通事故訴訟 損害賠償額算定基準」(通称赤い本)と、全国の裁判所の判例を調査、研究した書籍「交通事故損害額算定基準」(通称青本)を発刊し、以降50年以上に渡って改訂を重ね、交通事故の損害賠償問題に携わる多くの方々に、最新の情報を提供します。
45	その他公益事業	公益社団法人首都圏不動産公正取引協議会	消費者啓蒙	消費者が住宅を買う・借りる際に、その広告の見方をまとめたパンフレット「不動産広告の読み方見方」を作成し、当協議会正会員が実施する消費者向け不動産相談会や、各都県の消費者センターへの設置及び配布します。また、消費者が住宅を買う・借りる際に、その広告の見方を指図する動画作成と、当協議会ホームページに設置する相談ページの開設をします。